

◎国語科観点(評価規準)		1年2学期
I	国語への関心・意欲・態度 ○授業の準備をしっかりと行い、国語の学習に意欲的に取り組んでいる。 ○作品に興味関心を持って読もうとしており、また、ノートやプリント等丁寧にきっちり書き込み、読みやすく整理している。 ○ノートやワークなどの提出物を丁寧に仕上げ、また、期日を守って提出している。	
II	話す・聞く能力 ○作品の内容をふまえて、正しくはっきりと音読することができる。 ○古典を正確に暗唱し、しっかりと発表することができる。 ○他の人の発言を注意して聞き、また的確に質問し、自分の考えも述べるすることができる。	
III	書く能力 ○文章を正確に読み取り、指示に従って的確にまとめることができる。 ○読み取ったことから感想を深め、自分の考えを分かりやすく書くことができる。 ○抽出された語句を用い、短文を作ることができる。	
IV	読む能力 ○物語の場面展開や登場人物の気持ちを読み取ることができる。 ○段落の役割に注目して、内容を的確に読み取ることができる。 ○古典の作品にふれ、古典特有の文章の特徴や意味を読み取ることができる。	
V	言語についての知識・理解・技能 ○文章中の言葉の意味を正しく理解している。 ○漢字について正しく読んだり書いたりすることができる。 ○文節の働きについて正しく理解している。 ○楷書と行書の違いについて基本的なことを理解している。	

◎社会科観点(評価規準)		1年2学期
I	社会的事象への関心・意欲・態度 ○社会の事象に対して、興味や関心を持っている。	
II	社会的な思考・判断・表現 ○ヨーロッパ州・アフリカ州の特色を、自然環境や社会的条件と関連付けながら多角的・多面的に考察し表現できる。 ○南アメリカ州の特色を、自然環境や社会的条件と関連付けながら多角的・多面的に考察し表現できる。	
III	資料活用の技能 ○アジア州の産業や人々の暮らしの特徴を、資料から読み取ることができる。 ○北アメリカ州の自然環境や産業の特色を、資料から読み取ることができる。	
IV	社会的事象についての知識・理解 ○南・西アジアやヨーロッパ州の産業の特徴を理解している。 ○オセアニア州の自然や産業、人々の暮らしの特徴を理解している。	

◎数学科観点(評価規準)		1年2学期
I	数学への関心・意欲・態度 ○ワーク等の提出物を丁寧に仕上げ、期日までに提出している。 ○比例や反比例を表す式において、比例定数を把握している。 ○簡単な整数比の比の値を求める事ができる。 ○平行移動、対称移動、回転移動の定義を理解している。	
II	数学的な見方や考え方 ○発展的な一元1次方程式を解く事ができる。 ○発展的な比の式を、その性質によって一元1次方程式に形を変え、文字の値を求める事ができる。 ○一元1次方程式に指定された解を代入する事によって、文字の値を求める事ができる。	

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章から具体的な条件を読み取る事により一元1次方程式を立てて、解を求める事ができる。また、その解が題意に適するかどうかを確かめる事ができる。 ○ 比例や反比例の発展的な問題を、道のり・速さ・時間の公式、歯車の公式、三角形の面積の公式を利用して解く事ができる。 ○ 時間の経過と対応する図形の面積の変化をグラフに表す事ができる。 ○ 既習内容や扇形の面積を求める公式を利用して、複雑な図形の面積を求める事ができる。
III	数学的な技能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 標準的な一元1次方程式を解く事ができる。 ○ 標準的な比の式を、その性質によって一元1次方程式に形を変え、文字の値を求める事ができる。 ○ 与えられた条件から比例の式を決定する事ができ、対応する文字の値を求める事ができる。 ○ 一方の変数の変域が定められた時、対応する他方の変数の変域を求める事ができる。 ○ 標準的な作図問題において、コンパスや定規を利用し、適切に作図する事ができる。
IV	数量や図形などについての知識・理解 <ul style="list-style-type: none"> ○ 比例や反比例の式において、一方の変数の値から他方の変数の値を求める事ができる。 ○ 比例のグラフをかく事ができる。 ○ 文章化された数量の関係を、比例や反比例の式で表現する事ができる。 ○ 基本的な一元1次方程式を解く事ができる。 ○ 基本的な比の式を、その性質によって一元1次方程式に形を変え、文字の値を求める事ができる。 ○ 図形を平行移動・対称移動・回転移動させた図を、升目を利用して完成させる事ができる。 ○ 扇形に関する用語を理解し、弧の長さや面積を求める公式を理解している。 ○ 扇形の弧や周の長さ、面積を求める事ができる。

◎理科観点(評価規準)		1年2学期
I	自然事象への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな物質・気体・水溶液とその性質、物質の状態変化などに関する事物・現象に関心を持ち、進んで観察・実験をして調べようとする。 ○ 科学の事象を日常生活と関連づけて考察しようとする。 ○ 授業中、意欲的に取り組み、わかりやすく工夫されたノート作りをしている。 	
II	科学的な思考・表現 <ul style="list-style-type: none"> ○ 物質の密度、気体の性質などを理解し、物質を見分ける方法を考察することができる。 ○ 水溶液の濃度や溶解度について考察することができる。 ○ 実験や学習を終えたあと、感想や疑問に思ったことを文章で表現することができる。 	
III	観察・実験の技能 <ul style="list-style-type: none"> ○ ガスバーナー、メスシリンダー、上皿天秤などの実験器具を正しく操作することができる。 ○ 気体の発生や蒸留の実験操作を正しく安全に行うことができる。 	
IV	自然事象についての知識・理解 <ul style="list-style-type: none"> ○ 金属・非金属、有機物・無機物、物質の密度、気体の発生と性質について理解している。 ○ 水溶液の濃度や溶解度、物質の状態変化について理解している。 ○ 物質の性質によって、物質を分類できることを理解している。 	

◎音楽科観点(評価規準)		1年2学期
I	音楽への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ○ のびのびとした声で姿勢や口の開け方・発音に注意して歌唱することができた。 ○ 授業において、準備物や学習カードの記入・提出物などを怠りなく行い、意欲的に取り組む事ができているか。 ○ 全校・学年・クラス合唱曲の歌詞を、その意味を理解した上で覚えて歌う事ができる。 ○ 自分の課題に応じて意欲的に自主練習し、正しく自己評価することができる。 	
II	音楽表現の創意工夫 <ul style="list-style-type: none"> ○ 全校・学年・クラス合唱曲の歌詞の内容・構成・背景・言葉の意味、曲想などを感じ取ることができる。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ○曲の表情に合わせて自己のイメージを持ち、表現を工夫することができる。 ○強弱や曲の抑揚を感じながら表現を工夫することができた。
III	音楽表現の技能 <ul style="list-style-type: none"> ○全校・学年・クラス合唱曲の旋律をおぼえ、楽譜通りに歌う事ができる。 ○特徴や様式の違い、言葉や発声の多様性を生かして歌唱表現する技能を身に付けている。 ○パートの役割を理解して、演奏・歌唱することができる。 ○楽譜記入についての基本について知り、自主的に適切な記譜作業を行うことができる。
IV	鑑賞の能力 <ul style="list-style-type: none"> ○「魔王」「アヴェ マリア」声による表現、登場人物の感情の表現を感じ取ることができる。 ○表現要素によって（速さ、強弱など）生み出される楽曲の雰囲気や曲想の変化を意識して聴き取ったり、聴きわけたりしている。

◎美術科観点(評価規準)	1年2学期
---------------------	--------------

I	美術への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ○授業を受けるにあたり、忘れ物や遅刻をせず意欲的に取り組むことができたか。 ○作品がより素晴らしくなるように、さらに工夫して制作したか。 ○楽しく主体的に美術の表現や鑑賞に取り組むことができたか。
II	発想や構想の能力 <ul style="list-style-type: none"> ○身近なものをよく観察し、感じや想像したことをもとに豊かに発想し、構想することができたか。 ○色や道具に対して関心を持ち、特性を生かしながら発想できたか。
III	創造的な技能 <ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な技術を身に付け、自分の意図に合う技法で、表現することができたか。 ○色や道具の特性を理解し、発想したものを創造することができたか。 ○構造や情報を理解して、他者により良い形で伝わるように、デザイン・制作をすることができたか。
IV	鑑賞の能力 <ul style="list-style-type: none"> ○自分とそれ以外のものを関連づけて、考えをもっているか。 ○他者の作品をよく理解し、よさや美しさへの感動を大切にできているか。また、その発見や感動を言葉や作品に表されているか。

◎保健体育科観点(評価規準)	1年2学期
-----------------------	--------------

I	運動や健康・安全への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ○体づくり運動の特性を理解し、健康に関心を持とうとしている。 ○お互いに協力しながら進んで練習や競技を行おうとする。 ○自分や他人の安全に配慮し学習しようとしている。 ○心身の発達と心の健康に関心を持ち、自ら課題をみつけ、意欲的に学習しようとしている。 ○水泳、マット運動、陸上競技（短距離走・リレー）の特性に関心を持ち、意欲的に学習するとともに、全力を出して競技を行おうとする。 ○仲間と協力し、励まし合いながら進んで泳力を高めようとする。 ○心身の発達と心の健康などに関心を持ち、自ら課題をみつけ意欲的に学習しようとしている。
II	運動や健康・安全についての思考・判断 <ul style="list-style-type: none"> ○課題解決のために効果的な練習や学習方法を実践している。 ○心身の発達と心の健康について学習したことを、日常生活の中での行動に生かしたりすることができる。 ○自分の能力に適した課題をもち、練習の仕方を工夫している。 ○心身の機能の発達と心の健康について、学習したことを日常生活に当てはめ、行動を選択することができる。
III	運動の技能 <ul style="list-style-type: none"> ○クロールの特性に応じた技能を身につけるとともに、その技能を高め、長く泳いだり、速く泳いだりすることができる。 ○マット運動の基本となる動きがスムーズに行える。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ マット運動の特性に応じた技能を身につけるとともに、技術や難度を高めたりすることができる。 ○ 短距離走のスタート方法をスムーズに行える。 ○ バトンパスの技能を身につけるとともに、技術や難度を高めたりすることができる。
IV	運動や健康・安全についての知識・理解 <ul style="list-style-type: none"> ○ 体づくり運動について正しい理解をしている。 ○ 心身の発達と心の健康について理解し、知識を身につけている。 ○ スポーツを楽しむためのマナーを理解している。 ○ 水泳の特性や技術を理解し、知識を身につけている。 ○ マット運動、陸上競技（短距離走・リレー）の特性や学習の進め方を理解している。 ○ 心の健康について理解し、知識を身につけている。

◎技術・家庭科観点(評価規準)		1年2学期
I	生活や技術への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ○ コンピュータ等の情報機器や情報手段の果たしている役割について考えている。 ○ 授業に興味を持って取り組み、毎時間の授業に集中して取り組める。 ○ 授業のまとめプリントにしっかり目を通し、定期テストに臨んでいる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書やワークなど必要なものを準備して授業に臨んでいる。 ○ 食物の表示などに興味を持ち、その意味などを自主的に知ろうと努力している。 ○ 日常食の調理に関心をもち、意欲的に調理に取り組もうとしている。 	
II	生活を工夫し創造する能力 <ul style="list-style-type: none"> 技 ○ コンピュータのソフトウェアを適切に使う方法を工夫している。 術 ○ コンピュータを生活の中に取り入れる方法を工夫している。 家 ○ 食品の特性を知りその保存方法などを工夫できる。 庭 ○ これまでに学習した食品と調理器具の扱い方を活用し、工夫して調理をすることができる。 	
III	生活の技能 <ul style="list-style-type: none"> 技 ○ コンピュータの能力を活用し、必要に応じて利用することができる。 術 ○ コンピュータのソフトウェアで行えることを全て理解し作業を効率的に行える。 家 ○ 調理の目的や食材に合った基本的な調理操作ができる。 庭 ○ 身近な食品を選択するために必要な情報を収集・整理することができる。 	
IV	生活や技術についての知識・理解 <ul style="list-style-type: none"> 技 ○ 情報手段が発達してきた経過や特徴に関する知識を身につけている。 術 ○ コンピュータの利点を生かした利用方法に関する知識を身につけている。 家 ○ 加工食品の特徴を理解している。 庭 ○ 調理の流れ、手順を理解している。 ○ 原材料や食品添加物、栄養成分、期限表示、保存方法などの表示を理解している。 	

◎英語科観点(評価規準)		1年2学期
I	コミュニケーションへの関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業用ノート、E-PLUSを期限内に仕上げ、提出している。 ○ 発言をするなど、積極的に授業に参加している。 	
II	外国語表現の能力 <ul style="list-style-type: none"> ○ I play~/ Do you~?, 複数形や数のたずね方、命令文、人や場所についてのたずね方、him/herの用法、3人称単数現在形などを理解し、活用することができる。 ○ 英語で自己紹介を行うことができる。 	
III	外国語理解の能力 <ul style="list-style-type: none"> ○ 英文を聞いてその内容を正しく理解することができる。 ○ まとまりのある英文を読んでその内容を正しく理解することができる。 ○ 1学期の学習事項を理解している。 	
IV	言語や文化についての知識・理解 <ul style="list-style-type: none"> ○ 単語テストに積極的に取り組んでいる。 ○ 1学期の学習単語を習得している。 	